

農地の譲渡に係る特例措置について知りたい

～ 地域の担い手に農地を売るとメリットがあります ～

特別控除制度

農用地区域内の農地を売り、譲渡益が発生すると、その譲渡益に対して所得税又は法人税がかかりますが、農業委員会のあっせんなどにより農用地区域内の農地を地域の担い手に売った場合には、その譲渡益から一定額が控除(特別控除)されます。

[注意!]

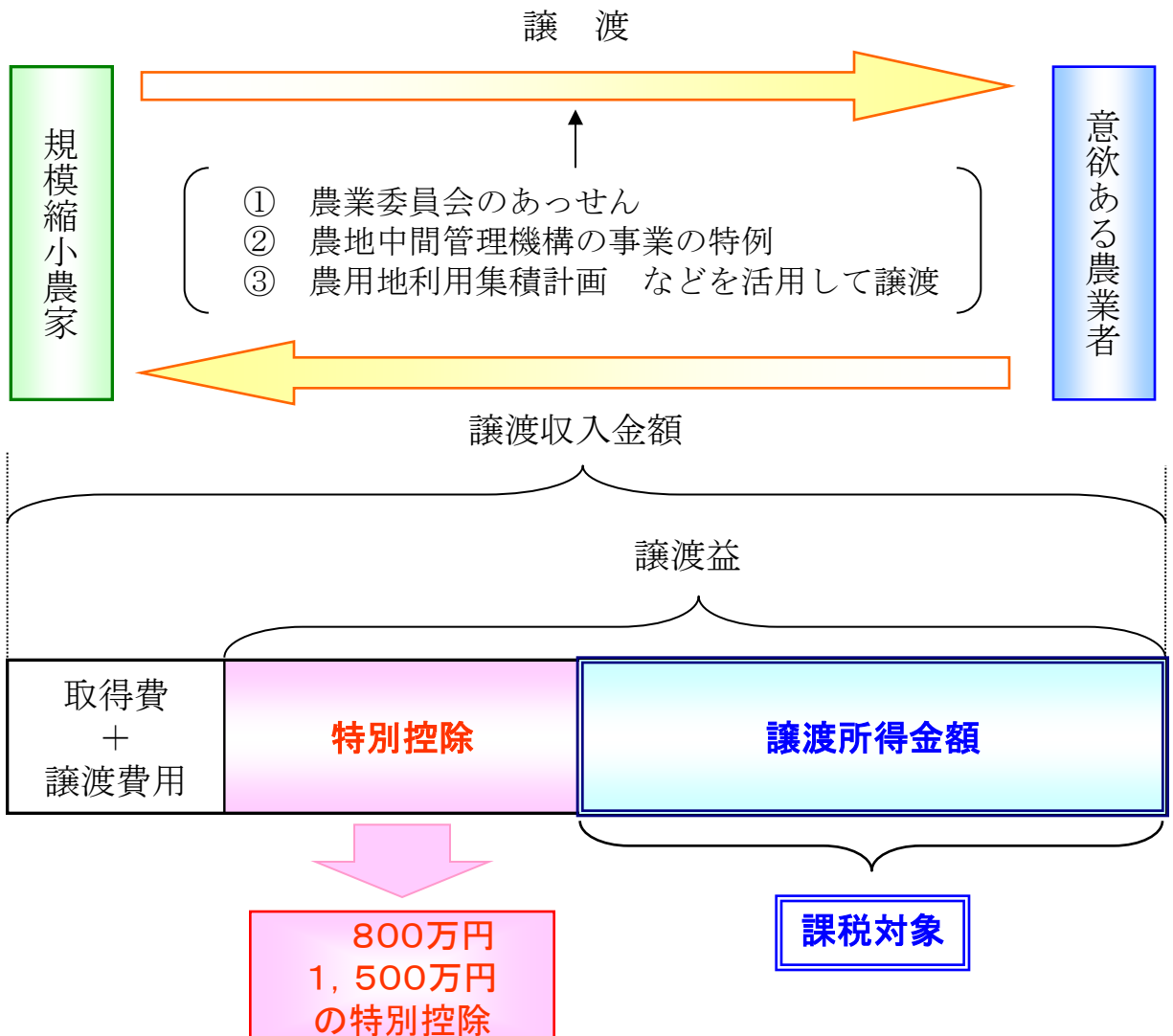
時価の2分の1に満たない低額又は無償譲渡(寄付)を行った場合についても、所有者が時価で農地を売ったものとみなされ、所得税又は法人税が課税されますが、このような場合でも、特別控除の特例が活用できます。

譲渡所得税の計算

譲渡所得金額 = 譲渡収入金額 - (取得費 + 譲渡費用) - 特別控除額

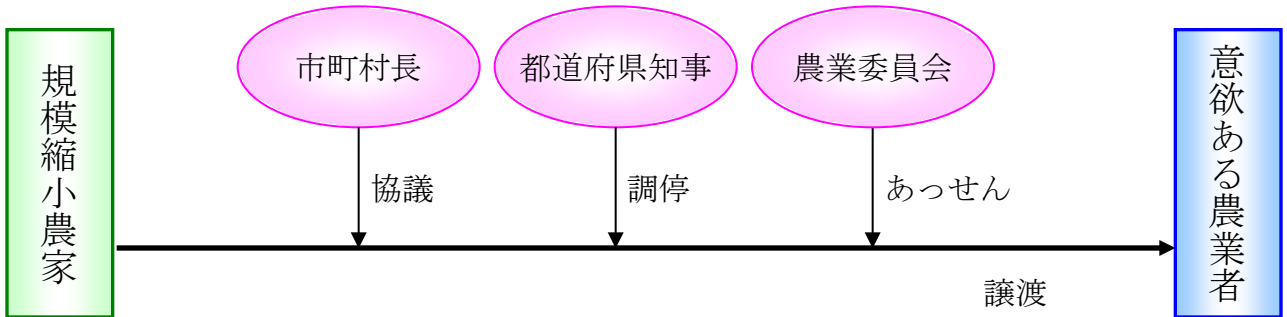
税額 = 譲渡所得金額 × (15% + 5%)
(所得税) (住民税)

* 短期譲渡所得(取得後5年以内の売却)の場合の税率は、30%、9%となる。



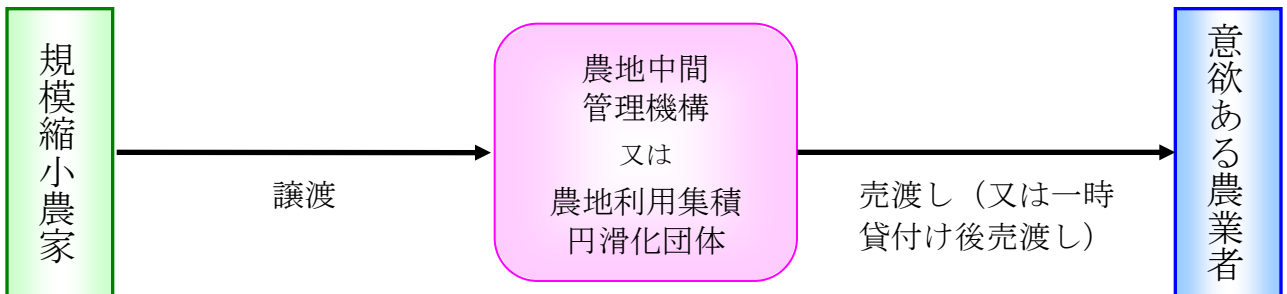
800万円の特別控除

(1) 勧告に係る協議、調停又はあっせんにより譲渡した場合
(租税特別措置法第34条の3第2項第1号、第65条の5第1項第1号、第68条の76第1項)



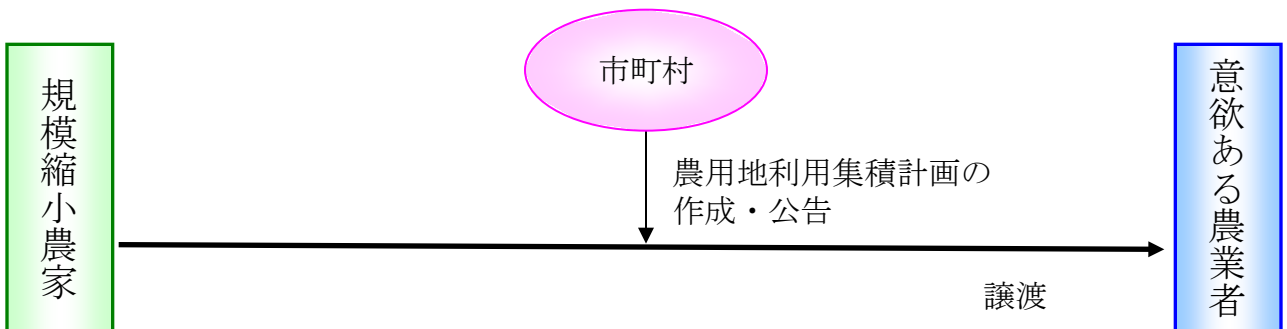
(注) 特例の適用対象となる土地は、農用地区域内のものに限りません。

(2) 農地中間管理機構又は農地利用集積円滑化団体に譲渡した場合
(租税特別措置法第34条の3第2項第1号、第65条の5第1項第1号、第68条の76第1項)



(注) 特例の適用対象となる土地は、農用地区域内のものに限りません。

(3) 農用地利用集積計画により譲渡した場合
(租税特別措置法第34条の3第2項第2号、第65条の5第1項第2号、第68条の76第1項)

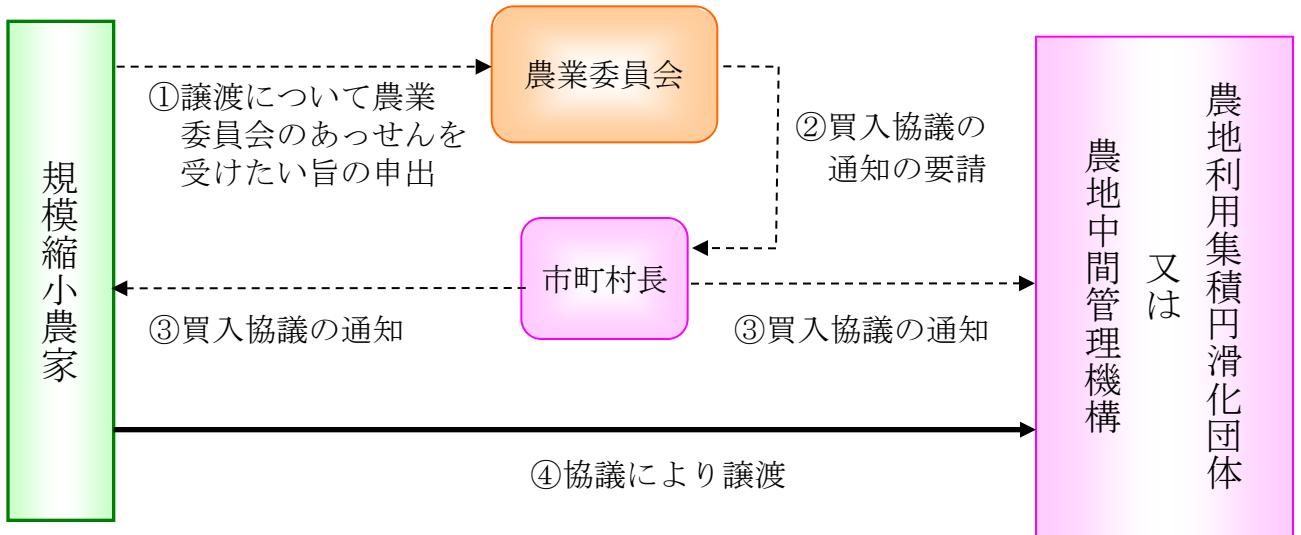


(注) 特例の適用対象となる土地は、農用地区域内のものに限りません。

1,500万円の特別控除

○ 農業経営基盤強化促進法に基づく買入協議により農地中間管理機構又は農地利用集積円滑化団体に買入れられた場合

(租税特別措置法第34条の2第2項第25号、第65条の4第1項第25号、第68条の75第1項)



(注) 特例の適用対象となる土地は、農用地区域内のものに限りません。

(注) その他、本特例の適用要件、手続等の詳細については、税理士等にご相談ください。

担当部署 農林水産省 経営局 農地政策課 企画グループ
お問い合わせ先 (代表)03-3502-8111(内線)5164
(ダイヤルイン)03-6744-2150

※(1)について

担当部署 農林水産省 農村振興局 農村計画課 農業振興地域班
お問い合わせ先 (代表)03-3502-8111(内線)5533
(ダイヤルイン)03-3502-6003